

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
こころとからだのしくみⅣ Physical and Emotional Mechanisms IV		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ・Ⅲ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
生活支援技術Ⅳ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
石川幸子	非常勤講師室	授業内でお伝えします		授業中に指示します
授業の概要				
「こころとからだのしくみⅣ」では、身じたくや身体の清潔を保つことの意義、睡眠と休息の意義について理解し、身じたくや身体の清潔保持および睡眠に関するからだの構造や機能、心理的影響に関する知識を習得する。また、心身の機能低下や障害が身じたくや身体の清潔保持、睡眠に及ぼす影響について学習し、根拠を踏まえた生活支援技術との関連から、援助の方法や留意点、利用者への配慮について考える授業とする。				
授業の目標				
①身じたくや身体の清潔保持・および睡眠と休息の意義について説明できるようにする。 ②身じたくや身体の清潔に関連するからだの構造や機能について説明できるようにする。 ③身じたくや入浴等が心身に及ぼす影響について説明できるようにする。 ④機能低下や障害が整容や入浴動作に及ぼす影響について体験を通して考え、説明できるようにする。 ⑤睡眠障害が心身に及ぼす影響および安眠への援助について、説明できるようにする。				
授業の方法				
講義科目であるが、心身の機能低下や障害が身じたくや清潔保持の動作に及ぼす影響については、グループ演習を通して考える機会を持つ。また、睡眠障害の原因と安眠への援助についてもグループディスカッションを行い、学生自らが考える授業とする。				
学習の成果（学習成果）				
①身じたくや身体の清潔を保つことの意義とからだの構造および機能について関連付けて説明することができる。心身の障害により生じる整容や入浴動作等の制約、自立やQOL向上のために必要なことについて考え、支援につなげることができる。 ②睡眠の必要性について説明でき、安眠を得るための方法について考え、具体的支援につなげることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方・成績評価の方法・受講時の留意点など） 身じたくおよび身体の清潔を保つ意義【講義】			
第2回目	身じたく・入浴・清潔保持に関連したこころのしくみ・からだのしくみ【講義】			
第3回目	発達段階と整容・清潔保持動作、整容・入浴等が心身に及ぼす影響【講義】			
第4回目	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響①【講義と演習】			
第5回目	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響②【演習】			
第6回目	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響③【発表とまとめ】			

第7回目	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響④ 入浴の種類【演習】
第8回目	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響⑤【講義】
第9回目	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響⑥ 福祉用具の活用【講義】
第10回目	心身の機能低下が整容動作および入浴動作に及ぼす影響⑦ 変化の気づきと対応【講義】 （「身体機能低下が着脱や整容動作に及ぼす影響と必要な援助」のレポートを次回提出）
第11回目	睡眠の生理的意味、加齢による睡眠の変化【講義】
第12回目	心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響【講義】
第13回目	睡眠障害の種類と原因【演習と発表】
第14回目	安眠への援助、変化の気づきと対応【演習と発表】
第15回目	援助における医療職との連携【講義】
事前・事後学習	関連する生活支援技術Ⅳの内容との関連付けを行うこと。演習や発表の準備を十分に行うこと。
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	20% 以下の視点で評価する。教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、わからないことは質問すること。また、服装を整えてグループ演習に積極的に参加し、他者の意見を十分に聴き自分の意見を述べること。
レポート	10% 「機能低下が着脱や整容動作に及ぼす影響と必要な援助」のレポートを10回目に課す。S：演習における感想や学びが具体的であり、介護者の立場から利用者の自立やQOLについて考えられていること。
調査報告書	
小テスト	
試験	50% 第16回目に実施。穴埋め、記述、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。
発表内容（態度含む）	20% ①機能低下が着脱や整容動作に及ぼす影響と必要な援助、②不眠の原因と安眠への援助について、グループで発表する。発表内容（具体的でわかりやすく、十分に考察していること）や発表態度等で評価する。
その他	
教科書と参考図書	
教科書：新・介護福祉士養成講座 第14巻 「こころとからだのしくみ」 中央法規出版 （こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ・Ⅲと同じ）	
履修上の留意点・ルール	
「生活支援技術Ⅳ」と関連付けて学習してほしい。講義・グループ演習に積極的に参加し、学びを共有すること。机上に携帯電話、飲み物など教材以外の物を置くことは禁止する。演習には、ふさわしい服装で臨むこと。やむを得ず欠席する場合は必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。「生活支援技術Ⅳ」の進度により、授業内容を入れ替える場合がある。その場合は授業の際に説明する。	